

さやまの昔ばなし

なすとっかえ・外伝



諏訪神社は、入間川下流にあり毎年8月のおわりの土日に「なすとっかえ」の神事があります。祭神は、水の浅瀬の連御名方命と水の浅瀬の神さまといわれています。

「なすとっかえ」の発祥は、
 ● 狭山市史
 ● 入間川町史
 ● 狭山の歴史本
 ● 狭山のお祭りなどがあつきます。

「なすとっかえ」の由来は、
 一富士、二鷹、三茄子。昔より、1月2日の晩にみる初鷹は、一巻長いのが富士山で、二巻目は鷹、三巻目は茄子だといわれています。富士山はなんと、これも日本の山。鷹は、驚となるとも、と強い鳥。茄子は成功を成(なす)に通ずるといいます。鷹はみ諏訪さまの守護神です。今年干支は辰なので、

「なすとっかえ」のアニメもできました！

元来、諏訪神社は相撲の神さまといわれています。お祭りには、境内に土俵をつくり草相撲をしました。お祭りの中、相撲券付がありました。

イラスト地図・池原昭治

お諏訪さまの「なすとっかえ」は、平成9年(1997)6月2日に、狭山市の無形民俗文化財に指定されました。

広報さやまへのご意見・ご感想は
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111
FAX 04-2953-1117

公式ホームページ



公式 Facebook



公式 X (旧Twitter)



公式 LINE 狭山市LINE 公式アカウント ID:@citysayama



編集後記

今月は、以前「さやまの昔ばなし」のコーナーで紹介した「お諏訪さまのなすとっかえ」にちなんだ表紙を、池原昭治さんに描き下ろしていただきました。「狭山では富士山も鷹も見ることができ、ナスと竜神が関係する行事もある。お正月のことわざ「一富士二鷹三茄子」と今年の干支「辰」を思い浮かべた時、狭山のお正月にぴったりな作品を思い付いたんです」と池原さん。今月のさやまの昔ばなしも、表紙に関連した番外編です。ぜひ、表紙と裏表紙が見開きになるように広げ、表紙の絵と並べてご覧ください。2ページでは市内に伝わる竜のお話もご紹介いただいていますので、併せてお楽しみください。